

平成30年度 北海道小学校長会  
第4回理事研修会  
研修部活動報告 2018.12.17



研修部から、10月以降の活動について、  
4点報告する。

1点目は、「第70回全国連合小学校長会研協議会北海道大会」「第61回北海道小校長会教育研究函館大会」についてである。

10月4日、5日の日程で開催された全道大会を兼ねた全国大会には、全国から約2,500名の校長が参集し無事終了することができた。道小がこれまで積み上げてきた研究の成果と課題を受けて、どの分科会においても、素晴らしい研究発表がなされ、それを基に熱心な研究協議が行われました。

「分科会の充実こそが最大のおもてなし」の理念の下、参画型の分科会運営を実行したが、アナライズカードやフリップの投影などでの視覚化やグループ討議の観点の焦点化、キーワードによるまとめの工夫などによって、参会者一人一人の課題意識や参加意欲の高まりが見られ、参画型の分科会は更に充実してきた。

グループ協議においては、北海道の方々に司会や記録の役を務めていただいた。「北海道の校長先生の効果的な司会進行でグループ協議が大変有意義でした」というアンケートの言葉もいただき、北海道のよさを大いに伝えることができたと思う。各地区の理事の校長先生の事前のかかわりに改めて感謝申し上げる。

また、11月19日に運営研修会を開催し、午前に「大会反省会」、午後に平成31年度の開催地である胆振地区への「引継会」を行った。この内容については、この後の協議において研修部副部長から報告する。

2点目は、「小学校教育 別冊55号」の発行についてである。

大会の研究集録として発行している「小学校教育 別冊」であるが、函館大会実行委員会の編集委員会及び各分科会の記録担当の先生方には、たいへんご苦勞をいただいた。おかげさまで、今月末に脱稿し、2月22日の第5回理事研修会にはお手もとに届くように作業を進めている。

3点目は、「教育改革等に関する調査」についてである。7月に、全連小より依頼のあった教育改革、教育課程、現職教育等の調査用紙を各地区の研修部長の先生に依頼、8月に回収し、全連小へ送付しました。3月には調査結果が「研究紀要」の冊子となってお手元に届くことになっている。ご活用をいただければと思います。

最後4点目は、「地区研究活動」についてである。

掲載する原稿については、各地区の研修部長の先生から、全てご提出いただいた。今後、北海道小学校長会のホームページに「地区研究活動」にアップされる。ご協力に感謝申し上げます。